

5.8型ディスプレイ付オーディオ 取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

**ALLION
PREMIO**

 **TOYOTA**

このたびは5.8型ディスプレイ付オーディオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

5.8型ディスプレイ付オーディオをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

- ・ 本書は、5.8型ディスプレイ付オーディオの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。
- ・ トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

- ・ お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- ・ 本書の画面の色は印刷インクの関係で、実際の画面の色とは異なることがあります。
- ・ 本書の画面と実際の画面は、作成時期等によって異なることがあります。

CONTENTS

目次

	表示について	2
	5.8型ディスプレイ付オーディオの操作	3
	オーディオ	16
	バックモニター	41
	さくいん	48

表示について

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」や「車両の故障や破損につながるおそれがあること」と、その回避方法を下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、必ず読んで遵守してください。



記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。



記載事項を守らないと、傷害、車両の故障や破損につながるおそれがあること。



してはならない行為を示すイラストには、マークが記載されています。

スイッチ表示



5.8型ディスプレイ付オーディオ本体（画面外）のスイッチ名称を表示しています。

([DISC] ・ [オーディオ] など)



画面のスイッチ（タッチスイッチ）の名称を表示しています。

([設定] ・ [RPT] など)

その他の表示



「知っておくと便利なこと」、「知っておいていただきたいこと」を記載しています。



参照するページを表示しています。

5.8型ディスプレイ付オーディオの操作

5.8型ディスプレイ付オーディオでできること	4
作動条件	5
各部の名称とおもな働き	6
5.8型ディスプレイ付オーディオ本体	6
画面を調整・設定する	10
画質調整画面を表示する	10
画質を調整する	10
ライト点灯時に昼画表示にする	11
画面を消す	11
タッチスイッチの色を切り替える	12
操作画面継続表示の設定をする	13
アンテナの位置と取り扱い	14
ラジオ用アンテナ	14

5.8型ディスプレイ付オーディオでできること

モード	主な機能	記載場所
オーディオ	<ul style="list-style-type: none">・ AM・FM放送の受信・ CDの操作・ MP3・WMAディスクの操作	16～39
周辺モニター	<ul style="list-style-type: none">・ バックモニター	41～46

作動条件

5.8型ディスプレイ付オーディオの各機能は、次の条件により操作できるときと、できないときがあります。

○：操作できます。

×：操作できません。

スマートエントリー&スタートシステム装着車

機能 \ “エンジンスタートストップ”スイッチ	OFF	アクセサリモード	イグニッション ONモード (停車中)	イグニッション ONモード (走行中)
オーディオ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
バックモニター	×	×	○ シフトレバーがⒷのときのみ。	○ シフトレバーがⒹのときのみ。

スマートエントリー&スタートシステム非装着車

機能 \ エンジンスイッチ	“LOCK”	“ACC”	“ON” (停車中)	“ON” (走行中)
オーディオ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
バックモニター	×	×	○ シフトレバーがⒷのときのみ。	○ シフトレバーがⒹのときのみ。

5.8型ディスプレイ付オーディオ本体



1 情報スイッチ	情報画面を表示するときに押します。
2 オーディオ操作スイッチ	オーディオ操作画面を表示するときに押します。(➡23)
3 DISCスイッチ	CD、MP3/WMAの各モードを選択するときに押します。(➡29、32)
4 AM・FMスイッチ	ラジオを受信するときに押します。受信中は押すごとにAMラジオ・FMラジオが切り替わります。(➡25)
5 TUNE・FILEツマミ	曲の選曲やラジオの放送局を変えるときなどに使用します。
6 ディスク取り出しスイッチ	ディスクを取り出すときに押します。(➡18)
7 画質・消スイッチ	画質の調整をするときや画面を消すときなどに押します。(➡10)
8 交通情報スイッチ	交通情報放送を受信するときに押します。(➡28)
9 SEEK TRACKスイッチ	曲の選曲やラジオの放送局を変えるときなどに使用します。
10 パワースイッチ・音量調整ツマミ	押すごとにオーディオの電源をON・OFFすることができます。右に回すと音量が大きく、左に回すと音量が小さくなります。

 **注意**

画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。

手で強く押ししたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

知識

- ・液晶ディスプレイは、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- ・太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- ・偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

5.8型ディスプレイ付オーディオは、おもに画面のスイッチ（タッチスイッチ）に直接タッチして、操作します。

- ・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- ・スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- ・操作できないタッチスイッチは、灰色になり、タッチしても操作できません。

スイッチの機能が働いているときは、以下のようになります。

- ・タッチスイッチの色が明るくなる
- ・タッチスイッチに作動表示灯があるものは、作動表示灯が点灯する

1つ前の画面に戻るときは、**戻る**にタッチします。

タッチすると、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）



安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。



バッテリー上がりを防ぐため、エンジン停止中に長時間使用しないでください。



MEMO

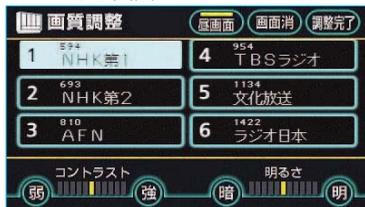
画質調整画面を表示する

画質・消を押します。

・画質調整画面が表示されます。

画質調整画面の表示例
(ライト点灯時の昼画表示)

オーディオ画面



バックモニター画面



調整完了にタッチすると、画質調整画面が解除されます。(約20秒以上操作しなかったときは、自動で解除されます。)

画質を調整する

画質調整画面で調整します。

■色合い*

緑色を強くするときは**緑**、赤色を強くするときは**赤**にタッチします。

■色の濃さ*

色を濃くするときは**濃**、色を淡くするときは**淡**にタッチします。

■コントラスト

強くするときは**強**、弱くするときは**弱**にタッチします。

■明るさ

明るくするときは**明**、暗くするときは**暗**にタッチします。

*色合い、色の濃さは、バックモニターの映像を表示しているときに調整できます。オーディオ操作画面などは、コントラスト、明るさのみ調整できます。

知識

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

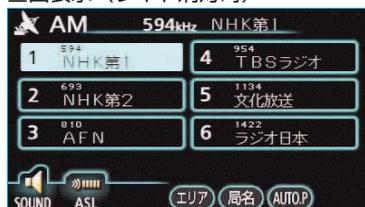
ライト点灯時に昼画表示にする

夜間など、周囲が暗いと画面が明るすぎて画面が見えにくくなることがあります。そのため、画面を見やすくするために、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わりますが、つねに〈昼画表示〉にしておくこともできます。

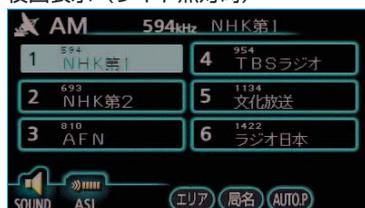
- ・ライト消灯時… 〈昼画表示〉
- ・ライト点灯時… 〈夜画表示〉

昼画表示と夜画表示の画面例

昼画表示 〈ライト消灯時〉



夜画表示 〈ライト点灯時〉



夜画表示のとき画質調整画面で、

昼画面 にタッチします。

タッチすることにより、〈昼画表示〉と〈夜画表示〉が切り替わります。

- ・昼画表示のときは、タッチスイッチの作動表示灯が点灯します。

知識

ライト消灯時の画質調整画面には**昼画面**は表示されません。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

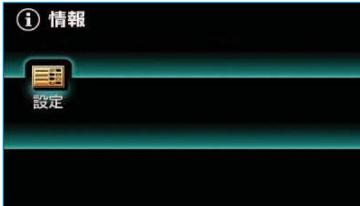
画質調整画面で、**画面消** にタッチします。

- ・再度、画面を表示させるには各モードのスイッチを押します。

タッチスイッチの色を切り替える

タッチスイッチの表示色を変えることができます。

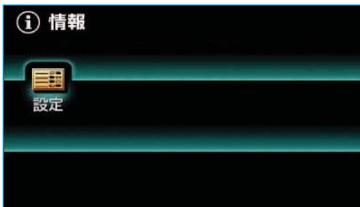
グリーン



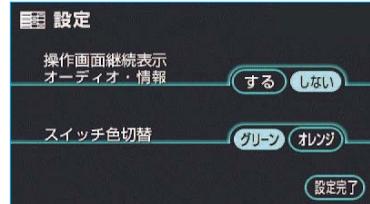
オレンジ



- 1 **情報**を押します。
- 2 情報画面で、**設定**にタッチします。



- 3 スイッチ色切替の**グリーン**・**オレンジ**のいずれかにタッチします。



- 4 **設定完了**にタッチします。

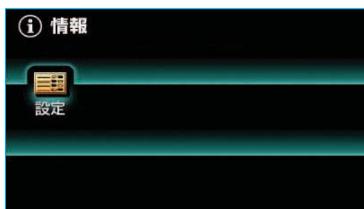
知識

本書で使用している画面のタッチスイッチの表示色は、グリーンを使用しています。

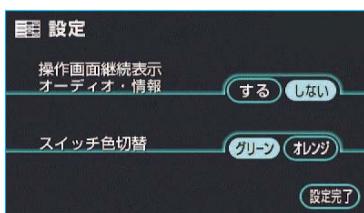
操作画面継続表示の設定をする

情報画面とオーディオ操作画面の継続表示を「する」・「しない」に設定することができます。「しない」に設定すると、情報画面またはオーディオ操作画面を表示してから、約20秒以上操作しないと、自動的にもとの画面に戻ります。

- 1 **情報**を押します。
- 2 情報画面で、**設定**にタッチします。



- 3 操作画面継続表示の **する** または **しない** にタッチします。



- 4 **設定完了** にタッチします。

知識

する を選択していても、バックモニターなどの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面に戻らないことがあります。

ラジオ用アンテナ

リヤウインドウガラスに埋め込まれています。



注意

- ・アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- ・リヤウインドウガラスのアンテナ線部に次の物を貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）がはいるおそれがあります。
 - ・金属を含有するウインドウフィルム
 - ・その他の金属物（トヨタ純正品以外のアンテナなど）



MEMO

オーディオ

はじめに 18

ディスクの出し入れ	18
使用できるディスクについて	19
プレーヤーについて	21
商標について	21
文字情報の表示について	21

I 基本操作 22

電源を入れる	22
音量を調整する	22
操作画面を表示する	23
音の設定をする	23
音量補正 (ASL) の設定をする	24

II ラジオを聞く 25

ラジオを聞く	25
放送局を選ぶ	25
放送局を記憶する	26
自動で放送局を記憶する	26
エリアスイッチについて	27
交通情報放送を受信する	28
局名スイッチについて	28

III CDを聞く 29

CDを聞く	29
聞きたい曲を選ぶ	30
早送り、早戻しする	30
同じ曲を繰り返し聞く	30
曲の順番をランダムに聞く	30
曲を探す	31
トラックリストを表示する	31

IV MP3/WMAディスクを聞く

32

MP3/WMAディスクを聞く	32
聞きたいフォルダを選ぶ	33
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ	33
早送り、早戻しする	34
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く	34
同じフォルダを繰り返し聞く	34
再生中のフォルダの中から ランダムに聞く	34
ディスクに保存されている全フォルダの 中からランダムに聞く	34
フォルダの中から曲（ファイル）を探す	34
フォルダを探す	35
フォルダリストを表示する	35
ファイルリストを表示する	35
楽曲情報を表示する	36
MP3/WMAについて	37

ディスクの出し入れ



ディスクの入れかた

ラベル面を上にして、挿入口に挿入します。

- ・途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、再生を開始します。

ディスクの取り出しかた

を押します。

注意

- ・CDを挿入するときは、2枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- ・8cmCDを挿入するときは、アダプターを使用せずに、そのままCDを挿入してください。アダプターを使用するとCDを取り出せなくなるおそれがあります。

使用できるディスクについて

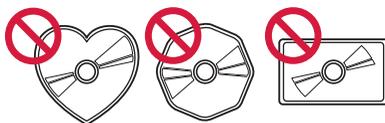
CDについて

CDは、下のマークのついた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）が使用できます。



- ・コピーコントロールCDなどの正式なCD規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。
- ・CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、キズ、よごれ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWは再生できません。

- ・ディスクには指紋、よごれ、キズ等をつけないように取り扱ってください。
- ・ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ・ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押ししたり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ・ディスク取り出しスイッチを押して、ディスクが飛び出した状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ・ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ・直径12cm、または8cmの円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



⚠ 注意

- ・DualDiscには対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- ・記録部分に透明、または半透明部分があるディスクは、正常に入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。



- ・レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
- ・セロハンテープ、シール、CD-R用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



- ・変形したディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

プレーヤーについて

- ・プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ・寒いときや雨降りのはきは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- ・悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

商標について

本製品はAMラジオモードを除き、SRS Labs,Inc.のSRS FOCUS[®]、SRS TruBass[®]の技術を使用しています。

FOCUS、TruBass、SRSと

 記号はSRS Labs,Inc.の商標です。

FOCUS、TruBass技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。



SRS 
FOCUS



SRS 
TruBass

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

I 基本操作

次のとき使用できます。

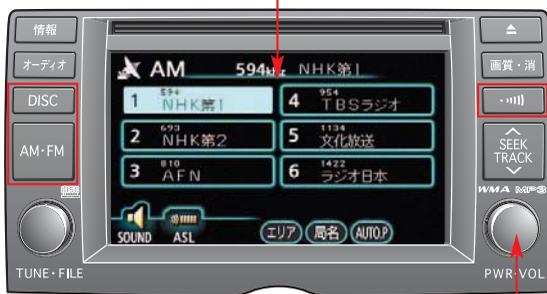
スマートエントリー&スタートシステム装着車

“エンジン スタート ストップ” スイッチがアクセサリモード、またはイグニッションONモードのとき

スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジン スイッチが“ACC”または“ON”のとき

オーディオ操作画面



パワースイッチ/音量調整ツマミ

 各オーディオモードスイッチ

電源を入れる

パワースイッチまたは各オーディオモードのスイッチを押します。

・パワースイッチを押すごとに、電源がONとOFFに切り替わります。

知識

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル式携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

音量を調整する

音量調整ツマミを右へ回すと、音量が大きくなり、左へ回すと、小さくなります。

・音量を調整すると、音量のレベルが画面に表示されます。



注意

安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

操作画面を表示する

オーディオの操作は、おもに操作画面を表示させて行います。

オーディオを押します。

選択されているモードの操作画面が表示されます。

知識

操作画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったとき、「継続表示しない（自動的にもとの画面に戻る）」または「継続表示する（操作画面の表示を継続する）」の切り替えをすることができます。(13)

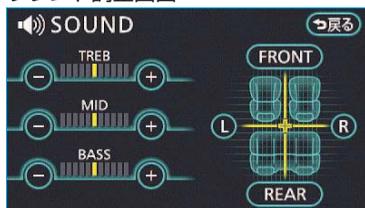
音の設定をする

サウンド調整画面を表示して設定します。

操作画面で、**SOUND** にタッチします。

・サウンド調整画面が表示されます。

サウンド調整画面



音質を調整する

TREB（高音）

強調するときは **+**、弱めるときは **-** にタッチします。

MID（中音）

強調するときは **+**、弱めるときは **-** にタッチします。

BASS（低音）

強調するときは **+**、弱めるときは **-** にタッチします。

音量バランスを調整する

前後音量バランス

前側音量を強調するときは **FRONT**、うしろ側音量を強調するときは **REAR** にタッチします。

左右音量バランス

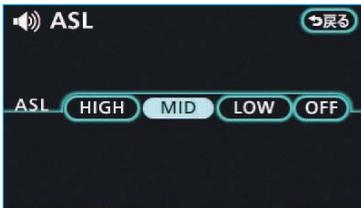
右側音量を強調するときは **R**、左側音量を強調するときは **L** にタッチします。

音量補正 (ASL※) の設定 をする

走行時の車速に応じて音質や音量を自動的に補正し、走行時でも停車時と同様な音質・音量感で音楽を聞くことができます。

※ASLはAutomatic Sound Levelizerの略

- 1 操作画面で、**ASL** にタッチします。
- 2 **HIGH**、**MID**、**LOW** または **OFF** にタッチします。



- ・ HIGH、MID、LOWの順に補正量が小さくなります。
- ・ OFFのときは、補正されません。

II ラジオを聞く

ラジオを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、ラジオ操作画面が表示されます。

- ・本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



ラジオを聞く

AM・FM を押し、ラジオモードに切り替えます。

- ・ラジオを聞いているときに、スイッチを押すと、AM・FMの切り替えをすることができます。

知識

- ・ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
- ・放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

放送局を選ぶ

プリセットスイッチから選ぶ

希望の放送局が記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- ・プリセットスイッチに放送局を記憶させたいときや、記憶されている放送局を変更したいときは、「放送局を記憶する」をご覧ください。
(26)

手動で選ぶ

周波数を高い方へ選択するときはTUNEツマミを右側、低い方へ選択するときは左側に回します。

自動で選ぶ

周波数を高い方へ選択するときはSEEKスイッチの \curvearrowright 側、低い方へ選択するときは \curvearrowleft 側を押します。

- ・受信感度が良く、現在画面に表示されている周波数に一番近い周波数を自動で選択します。
- ・途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押します。

知識

地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局の周波数をあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチでその周波数を選択することができます。

1 TUNEツマミまたはSEEKスイッチで記憶させたい周波数を選択します。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・記憶された周波数がスイッチに表示されます。

知識

- ・自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局の周波数を記憶させておくとう便利です。
- ・AM・FM各6局まで周波数を記憶させることができます。
- ・バッテリー交換やヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断られたときには、記憶されていた周波数はすべて消去されます。

自動で放送局を記憶する

自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。

AUTO.P に“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・画面に「AUTO.P」の表示が出ます。
- ・記憶された周波数がスイッチに表示されます。
- ・もう一度スイッチにタッチして、すぐ手を離すと解除されます。

■AUTO.Pスイッチで記憶させた周波数を変更するには

1 TUNEツマミまたはSEEKスイッチで記憶させたい周波数を選択します。

2 変更したい周波数が記憶されているプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・記憶された周波数がスイッチに表示されます。

知識

- ・旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。
- ・周波数の記憶操作が終了すると、“ピッピッ”と音がして記憶した中で一番低い周波数を受信します。
- ・**AUTO.P** にタッチするたびに、新たに周波数を記憶し直します。
- ・自動で周波数を記憶させても、スイッチにタッチする前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させた周波数は消去されません。
- ・受信感度の良い周波数を低い順に6局まで自動的に記憶します。受信周波数が6局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

- ・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- ・同じ放送局からの受信でも、TUNEツマミまたはSEEKスイッチで選択し、記憶させた周波数とAUTO.Pスイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- ・AUTO.Pスイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

エリアスイッチについて

スイッチにタッチして、現在地を選ぶことにより、操作画面に放送局の局名を表示させることができます。(今表示されている周波数に放送局の局名が付与されます。)

- 1 **エリア** にタッチします。
- 2 現在地の地域にタッチします。



- ・**局名非表示** にタッチすると、放送局名が表示されなくなります。

- 3 現在地 (またはそれに近い) の地名にタッチします。



- ・選択する都市が6つ以上のときは、**▲ページ** または **▼ページ** にタッチしてページを切り替えます。

知識

- ・旅先などで放送局の局名がわからないときなどに便利です。
- ・AM放送の場合、昼画表示 (ライト消灯時) と夜画表示 (ライト点灯時) で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

交通情報放送を受信する

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめ記憶されている交通情報放送局を受信することができます。

〔…)] を押します。

- ・もう一度スイッチを押すと、解除されます。

記憶されている周波数を変更するには

- 1 **AM・FM** を押して、AMを選択します。
- 2 TUNEツマミまたはSEEKスイッチで記憶させたい周波数を選択します。
- 3 〔…)] を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

知識

- ・新車時には1620kHzにセットしてあります。
- ・〔…)] を押して、ラジオを受信しているときは、TUNEツマミ・SEEKスイッチを操作しても、周波数は切り替わりません。
- ・バッテリー交換やヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断たれたときには、1620kHzになります。

局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数を使用している複数の放送局の放送地域が重なり合っている地域では、お聞きになっている放送局と表示されている放送局名が異なる場合があります。そのような地域では、局名スイッチが表示されます。

局名 にタッチして、お聞きになっている放送局の放送局名を選択します。

- ・最大で3つの放送局名から選択することができます。

Ⅲ CDを聞く

- CDを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、CD操作画面が表示されます。
- ・本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



CDを聞く

- CDが挿入されていないとき
CDを挿入します。(▶18)
- CDが挿入されているとき
DISCを押し、CDモードに切り替えます。

知識

ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

聞きたい曲を選ぶ

TRACKスイッチで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときはTRACKスイッチのへ側、前にあるときはゝ側を押します。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたい曲を選択して再生することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

トラックリスト画面で聞きたい曲にタッチします。

トラックリスト画面



- ・トラックリスト画面については「トラックリストを表示する」をご覧ください。(P.31)

早送り、早戻しする

早送りするときはTRACKスイッチのへ側、早戻しするときはゝ側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

- ・早送りする場合、最後の曲の終わりになったら、最初の曲に戻り作動を続けます。
- ・早戻しする場合、最初の曲の始めになったら、それ以上はスイッチを操作していても作動しません。

同じ曲を繰り返し聞く

RPT にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・解除するまで何度でも選択している曲が繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

RAND にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・解除するまでCDの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲を探す

SCAN にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・全曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチすると、その曲の再生を続けます。
- ・全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

トラックリストを表示する

曲リストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

TRACK LIST にタッチします。

- ・トラックリスト画面が表示されます。

トラックリスト画面



- ・曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・曲にタッチすると、その曲の再生を始めます。

IV MP3/WMAディスクを聞く

MP3/WMAディスクを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、MP3/WMA操作画面が表示されます。

- ・本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



MP3/WMAディスクを聞く

- ディスクが挿入されていないとき
ディスクを挿入します。(▶18)
- ディスクが挿入されているとき
DISCを押し、MP3/WMAモードに切り替えます。

知識

ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

聞きたいフォルダを選ぶ

操作画面で選ぶ

聞きたいフォルダがうしろにあるときはFOLDERの▲、前にあるときは▼にタッチします。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたいフォルダを選択して再生することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

フォルダリスト画面で聞きたいフォルダにタッチします。

フォルダリスト画面



- ・フォルダリスト画面については、「フォルダリストを表示する」をご覧ください。(▶35)

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

TRACKスイッチで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときはTRACKスイッチのへ側、前にあるときはゝ側を押します。

FILEツマミで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときはFILEツマミを右側、前にあるときは左側に回します。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたい曲を選択して再生することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

ファイルリスト画面で聞きたい曲にタッチします。

ファイルリスト画面



- ・ファイルリスト画面については、「ファイルリストを表示する」をご覧ください。(▶35)

早送り、早戻しする

早送りするときにはTRACKスイッチの ← 側、早戻しするときには → 側を“ピツ”と音がするまで押し続けます。

希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

- ・早送りする場合、ディスクの最後の曲の終わりになったら、最初の曲に戻り作動を続けます。
- ・早戻しする場合、ディスクの最初の曲の始めになったら、それ以上はスイッチを操作していても作動しません。

同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

RPT にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・解除するまで何度でも選択している曲が繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

同じフォルダを繰り返し聞く

RPT に“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・解除するまで何度でも選択しているフォルダが繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

再生中のフォルダの中からランダムに聞く

RAND にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・解除するまで選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

ディスクに保存されている全フォルダの中からランダムに聞く

RAND に“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・解除するまで全フォルダの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

フォルダの中から曲（ファイル）を探す

SCAN にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・選択しているフォルダの全曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチすると、その曲の再生を続けます。
- ・全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダを探す

SCAN に“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・全フォルダの一つめの曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望のフォルダになったら、もう一度スイッチにタッチすると、そのフォルダの再生を続けます。
- ・全フォルダの一つめの曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダリストを表示する

フォルダリストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

FOLDER LIST にタッチします。

- ・フォルダリスト画面が表示されます。

フォルダリスト画面



- ・フォルダが7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・フォルダにタッチすると、そのフォルダの初めの曲の再生を始めます。

- ・ **FILE** にタッチするとファイルリスト画面が表示されます。

ファイルリストを表示する

再生しているフォルダのファイルリストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

フォルダリスト画面で、**FILE** にタッチします。

- ・ファイルリスト画面が表示されます。

ファイルリスト画面



- ・曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・曲にタッチするとその曲の再生を始めます。
- ・ **FOLDER** にタッチするとフォルダリスト画面が表示されます。

楽曲情報を表示する

再生している曲の情報を表示することができます。

- ・ 走行中は楽曲情報を表示することはできません。

フォルダリスト画面またはファイルリスト画面で、**曲情報** にタッチします。

- ・ 楽曲情報画面が表示されます。

MP3楽曲情報画面



WMA楽曲情報画面



MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、もとのファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。

MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

■対応規格

MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)

■対応サンプリング周波数

MPEG1 LAYER3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24 (kHz)

■対応ビットレート

MPEG1 LAYER3 : 64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)

MPEG2 LSF LAYER3 : 64、80、96、112、128、144、160 (kbps)

※VBRに対応しています。

■対応チャンネルモード

ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能なWMAファイルの規格について

■対応規格

WMA Ver.7、8、9

■対応サンプリング周波数

32、44.1、48 (kHz)

■対応ビットレート

Ver.7、8 : CBR 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)

Ver.9 : CBR 48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)

※2ch再生のみ対応しています。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3のID3タグに対応しています。(文字数はID3 Ver.1.0、1.1に準拠します。)

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-ROMおよびCD-R、CD-RWです。なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

- ・ ディスクフォーマット : CD-ROM Mode1
: CD-ROM XA Mode2 Form1
- ・ ファイルフォーマット : ISO 9660レベル1、レベル2 (joliet)

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- ・ 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- ・ 最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 全角16文字。半角のみのときは32文字。
- ・ 最大フォルダ数 : 192 (ルート含む)
- ・ ディスク内最大ファイル数 : 255

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子".mp3"/".wma"がついたものだけです。

MP3/WMAファイルには、".mp3"/".wma"の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMAファイルを追記したCD-RおよびCD-RWの再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データとMP3、またはWMA形式のデータが混在しているディスクは、再生できません。



注意

MP3/WMA以外のファイルに".mp3"/".wma"の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに".mp3"/".wma"の拡張子をつけないでください。

知識

- ・安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- ・CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ・MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。
- ・ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- ・Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。



MEMO

バックモニター

バックモニターとは	42
-----------	----

バックモニターの使い方	43
-------------	----

操作のしかた	43
--------	----

バックモニターについての注意点	44
-----------------	----

運転時の注意	44
--------	----

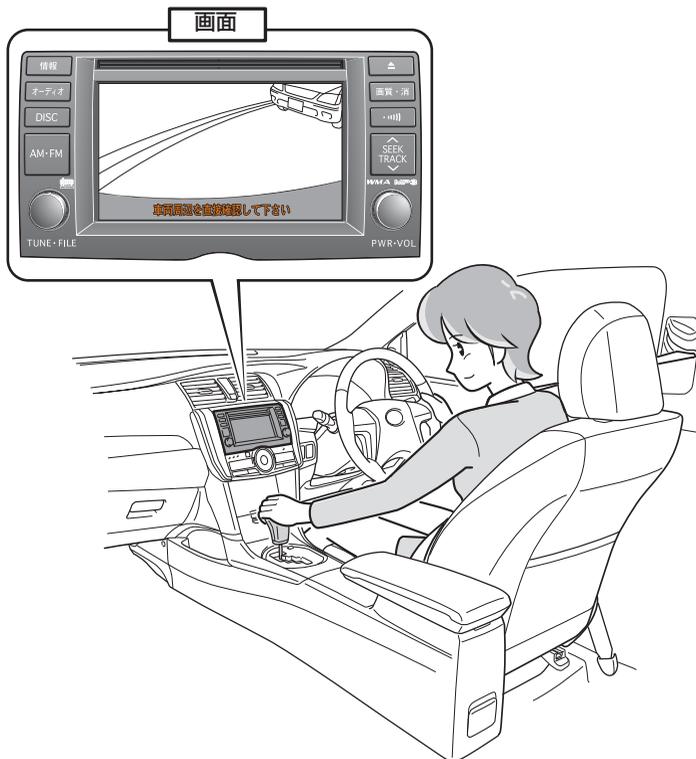
画面に映る範囲	45
---------	----

カメラ	46
-----	----

※本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

バックモニターとは

バックモニターは、後退操作（とくに駐車時）を補助する装置です。



警告

- ・バックモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。(➡44)
- ・カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(➡45)

操作のしかた

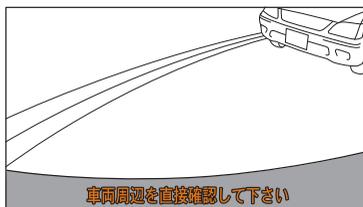
次のとき、シフトレバーを**R**にすると、後方の映像が自動でモニター画面に映ります。

スマートエントリー&スタートシステム
装着車

“エンジン スタート ストップ” スイッチがイグニッションONモードのとき

スマートエントリー&スタートシステム
非装着車

エンジンスイッチが“ON” のとき



- ・シフトレバーを**R**以外にすると、通常画面に戻ります。

知識

シフトレバーを**R**にしても、**情報**・**オーディオ**など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモードの画面に切り替わります。

運転時の注意

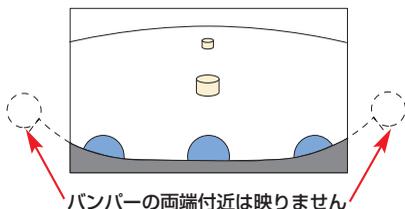


- ・バックモニターを過信しないでください。
一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- ・後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶついたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- ・以下のような状況では、使用しないでください。
 - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - ・トランクが完全に閉まっていないとき
 - ・坂道など平坦でない道路駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。
- ・外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

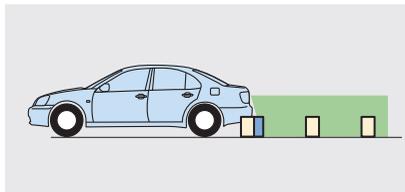
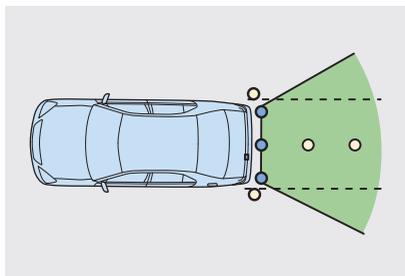
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

画面



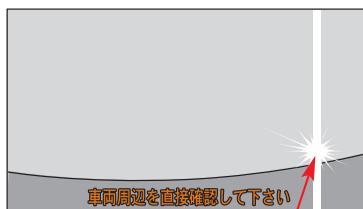
映る範囲



知識

- ・車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ・カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

- ・次のようなときは、画面が見つづらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・暗いところ（夜間など）
 - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき
 - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
 - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
 - ・カメラに擦り傷や土がついているとき
 - ・太陽やヘッドランプの光りが直接カメラのレンズに当たったとき
 - ・高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミヤ現象*が発生することがあります。



高輝度の点

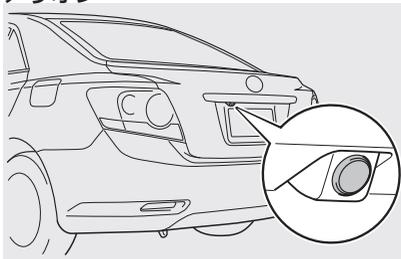
※スミヤ現象：高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

- ・蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下でバックモニターを使用すると、照明および照明の照らされている部分がちらついて見えることがあります。（フリッカー現象）
- ・バックモニターの画質調整の方法は、「画質を調整する」をご覧ください。（◎10）

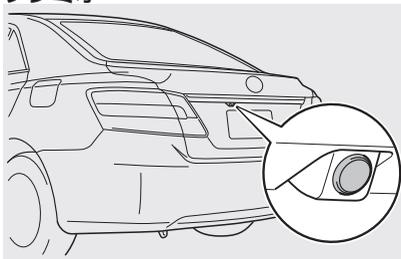
カメラ

ナンバープレートの上側に取り付けられています。

アリオン



プレミオ



⚠ 注意

バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

- ・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- ・カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- ・カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- ・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ・洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。高水圧のためカメラの故障の原因となることがあります。

知識

カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。



MEMO

50音索引

あ

アンテナ14

い

EJECT18

え

ASL24

AMスイッチ6

FMスイッチ6

MP332

MP3について37

同じフォルダを繰り返し聞く34

楽曲情報の表示36

繰り返し聞く34

再生する32

全フォルダの中からランダムに聞く34

ディスクの出し入れ18

早送り、早戻し34

ファイルリストの表示35

ファイルを選ぶ33

フォルダの中からファイルを探す34

フォルダの中からランダムに聞く34

フォルダリストの表示35

フォルダを選ぶ33

フォルダを探す35

エリアスイッチ27

お

オーディオ16

MP3を聞く32

CDを聞く29

WMAを聞く32

ラジオを聞く25

オーディオ操作画面23

オーディオ操作スイッチ6

オーディオ電源22

音質調整23

音量調整22

音量バランス調整23

音量補正 (ASL) の設定24

か

画質・消スイッチ6

画質調整10

カメラ (バックモニター)46

画面を消す11

き

局名スイッチ28

こ

交通情報スイッチ6

交通情報放送28

さ

SOUND23

作動条件5

し	
SEEKスイッチ	6
CD	29
曲を選ぶ	30
曲を探す	31
繰り返し聞く	30
再生する	29
使用できるディスク	19
ディスクの出し入れ	18
トラックリストの表示	31
早送り、早戻し	30
ランダムに聞く	30
情報スイッチ	6

そ	
操作画面継続表示の設定	13

た	
タッチスイッチ色の切り替え	12
WMA	32
同じフォルダを繰り返し聞く	34
楽曲情報の表示	36
繰り返し聞く	34
再生する	32
全フォルダの中からランダムに聞く	34
WMAについて	37
ディスクの出し入れ	18
早送り、早戻し	34
ファイルリストの表示	35
ファイルを選ぶ	33
フォルダの中からファイルを探す	34
フォルダの中からランダムに聞く	34
フォルダリストの表示	35
フォルダを選ぶ	33
フォルダを探す	35

ち	
TUNEツマミ	6

て	
DISCスイッチ	6
ディスクの出し入れ	18

と	
TRACKスイッチ	6
トラックリスト	31

は	
バックモニター	41
操作のしかた	43
PWRスイッチ	6

ひ	
昼画表示	11

ふ	
FILEツマミ	6
ファイルリスト	35
フォルダリスト	35

ほ	
VOLツマミ	6

よ	
夜画表示	11

ら

ラジオ	25
エリアスイッチ	27
局名スイッチ	28
交通情報を聞く	28
自動で放送局を記憶する	26
放送局を選ぶ	25
放送局を記憶する	26
ラジオを聞く	25
ラジオ用アンテナ	14

アルファベット索引

A

ASL	24
AMスイッチ	6

C

CD	29
----------	----

D

DISCスイッチ	6
----------------	---

E

EJECT	18
-------------	----

F

FILEツマミ	6
FMスイッチ	6

M

MP3	32
-----------	----

P

PWRスイッチ	6
---------------	---

S

SEEKスイッチ	6
SOUND	23

T

TRACKスイッチ	6
TUNEツマミ	6

V

VOLツマミ	6
--------------	---

W

WMA	32
-----------	----



MEMO

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>



M 20B22

01999-20B22

NAI-2013年1月29日

2010年4月26日 初版

2013年2月5日 3版

アリオン／プレミオ

5.8型ディスプレイ付オーディオ